



ニュースレター No.82 June 2017

MIC かながわ

とくていひ えいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人
たげんごしやかい
多言語社会リソースかながわ

〒221-0835
よこはましかながわくつるやちよう
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター内
Tel: 045-314-3368
Fax: 045-342-7918
e-mail: mickanagawa@network.email.ne.jp
URL: http://mickanagawa.web.fc2.com/

ニュースレターは6月・9月・12月・3月発行の季刊紙です。

特集：多言語支援センターかながわ

2年目を迎えて

昨年6月20日(月)にオープンした「多言語支援センターかながわ」が2年目を迎えました。かながわ国際交流財団(KIF)とMICかながわが共同で県から委託を受け、県内に住む外国籍の人や県に立ち寄った外国人の方に向け、英語・中国語・スペイン語(2017年4月より)・ベトナム語・タガログ語・やさしい日本語で情報提供や通訳支援を行っています。

MICかながわは、2016年度は電話での相談に対応するコールセンター「多言語ナビかながわ」の業務(英語・中国語)と、多言語スタッフに対する研修を担当しました。2017年度はベトナム語とタガログ語の多言語スタッフの派遣に関する業務、および研修を担当しています。



多言語支援センターかながわに所属する多言語スタッフと日本人スタッフからの感想を紹介しします。

多言語ナビでは、こちらの思いと、相談者にとって何が一番いいのかということの見極めが難しいと感じています。どこに相談したらよいかかわらず、こういう相談窓口の存在も知らず困っているフィリピン人がとても多いということを知りました。

通訳に行くとき、もともとあちこちに出かけることや携帯であれこれ調べるのが好きなので、移動はそれほど苦ではありません。病院では患者さんの感謝の気持ちが伝わってきて「また頑張ろう！」という気持ちになります。

(タガログ語スタッフ)

横浜市の国際交流ラウンジ窓口相談の経験がありますが、多言語ナビかながわに携わって、もっと広い地域で、より多くの人を助けてあげられるようになりました。複雑な問題も日本人スタッフの協力でき、整理ができ、すべきことの順番がわかり、早い解決につなげることができていると思います。

全然日本語がわからなかったときに自分が同じような状況を経験しているからこそ、相談者が前に向かって一歩を踏み出せるようなサポートをしてあげたいと思っています。

(タガログ語スタッフ)

相談者の言いたいことを汲み取れるかどうかという不安とともに、責任を感じています。今はまだ周囲に相談しながらやっている状況ですが、県の機構や制度について勉強しなければと思います。

私自身は日本語を勉強してから留学生として来日したため、日本語ができず困っている人たちの苦労や悩みは想像の中だけのものでした。それが、今は何が大変なのか、どのように大変なのか実感できるようになりました。(中国語スタッフ)

多言語ナビの仕事では、どんな電話がかかってくるか分からないので最初は大変でした。相手に落ちて話してもらえよう工夫をしています。限られた時間の中で次々と質問が続くときには、ポイントをまとめながら話を聞くように、いろいろ努力をしています。

病院では、せっかく通訳がいるのだからあれもこれもと、長い時間通訳することもあります。疲れてしまって、帰る方向と反対の電車に乗ってしまったこともあり、気持ちを引きずるような大変な時は、家族に電話をし、全然関係ない話をして気分転換をしています。(ベトナム語スタッフ)

電話相談は初めてで、今は周りにサポートをしてもらいながらやっています。一昨年までKIFの子育てサポートに関わっており、乳幼児期からのママたちへのサポートが非常に役に立っていることを実感しています。特に歯磨きなどきちんとした生活習慣を持つことの大切さを感じます。

以前は口コミの世界だったものが、今は皆さんスマホやパソコンでインターネットを使いこなしている、INFO KANAGAWA など役に立つ情報が早く届いていると思います。

(スペイン語スタッフ)

多言語ナビでは、自分は個人的に経験しないであろうというケースに出会うと、情報提供がなかなか難しいですが本当に勉強になります。日本語ができないためにどこに相談していいかわからない人がたくさんいると実感しています。

母語で聞いてきちんと理解するということができないために、相談ルートが違ってそのために余計な時間を費やしてしまったり、納得できない部分が残したりしてしまうのは、本当につらいことだと思います。母語で相談できる場所が必要です。

(中国語スタッフ)

この仕事をするまでは、神奈川県にベトナム人がどのくらいいるのか、どういう生活をしているのか、どんなことで困っているのか全然知りませんでした。

電話相談の仕事は初めてで、最初は電話の音を聞くだけでドキドキしました。通訳に出向くときの移動では、迷子にならないか、遅刻しないかと、とても緊張しています。病院での通訳は心が痛むこともあります。通訳が終わった後、先生や患者さんが安心した顔をしてくださるのを見ると私も嬉しくなります。(ベトナム語スタッフ)

多言語ナビは、ひとりの人が沢山の質問をすることがありますが、そんなときは最後まで丁寧に話を聞いてから、ひとつひとつ整理して答えるようにしています。

いろいろな制度があるのでたどり着くのが大変ですが、適切な制度や組織を紹介できた時は、ちゃんとつながって良かったと思います。また、つながることで解決の道筋が見えた時は嬉しく思います。多言語ナビの仕事を始めて日が浅いので、相談を受けながら一緒に学んでいきたいと思っています。

(スペイン語スタッフ)

今年度から「多言語支援センターかながわ」の担当になりました。このセンターは、電話や来訪に対して情報提供を行う「多言語ナビ」と「通訳派遣への協力」を軸として活動しています。今年度からは新たにスペイン語が加わり、日本語を含めると6つの言語での情報提供に対応でき、さらに充実しました。

お問い合わせをいただく内容は、日本語の学習のこと、病気や病院のこと、在留資格、子育て、役所の手続きなど多岐に渡ります。問い合わせを受けるとき、その方が理解できる言語を考慮するのは当然ですが、日本語で何か伝えるときはわかりやすい表現を使い、お役に立つ情報を探して提供しています。日々、そうした情報提供を重ねることにより知識と経験が蓄積されていくのを感じています。

県内にはいろいろな相談機関が設置されています。センターの運営を通じて、より一層それらの活用が進み、より暮らしやすい神奈川県になるよう努力してまいります。皆様の応援をよろしくお願ひします！
(日本人スタッフ)

昨年度は、多言語スタッフのサポートをしていました。問い合わせ内容を調べて情報収集する担当でした。知らないところで困っている外国人の方がこんなにいるのだなあと感じました。

今年度から多言語スタッフの通訳派遣先への経路案内と交通費清算の担当をしています。通訳派遣先まで到着時刻を考慮した経路案内をするのは、思ったより大変です。9時や10時に病院に到着する経路を案内する場合は、自宅からどの経路が行きやすいか考えたり、昼近くになると場所によってはバスが1時間に1本か2本しかないようなところもあるので、到着時間ぎりぎりの案内となったり、早すぎる案内となったりしてしまいますが、迷子になったらどうしようとか交通遅延で乗れなかったらどうしようとか思いながら、でもそれしか案内できなくてごめんねと思いつつ案内しています。

雨の日も、真冬でも真夏でも、現地に出向き、多いときは1日に3件も通訳業務が入ったりして、みんな頑張っています。これからも、なるべく通訳スタッフたちが分かりやすいように、楽に行けるように、経路案内できるようにがんばります。
(日本人スタッフ)

「多言語支援センターかながわ」の広報を主に担当しています。電話や来所での問い合わせ対応と並行して、センターのことをより多くの方に知ってもらうために、外国の食材等を販売しているお店やレストランにチラシを置いてもらい、県内で行われているイベントにも出向いて広報活動をしています。

今年からスペイン語が加わったことは一番大きなニュースです。広報用のチラシ、カードをリニューアルしました。また、言語スタッフからの意見で新たにポスターも作りました。必要な方には複数部お渡しできます。皆様もぜひ「多言語ナビ」を周りの方へお知らせください。

「多言語ナビ」への問い合わせは昨年と比べて増えていますが、必要とする人にもっともっと情報を届けなければと思っています。これからも言語スタッフと力を合わせ、問い合わせの対応と広報をがんばっていきます。
(日本人スタッフ)



医療通訳は、患者さんと医療者の間に存在することばの壁をなくすためのお手伝いをしています。命にかかわる通訳をすることも多く、とてもたいへんですが、皆、やりがいを感じて活動しています。どのような活動なのか、医療通訳スタッフからのエピソードを通してご紹介しましょう。

2008年登録 Sさん

今回私がご紹介させていただくのは、ある若い癌患者の方のお話です。一年前にたまたま初診の担当をしたのが私でした。初めて患者さんとお会した時の印象はとても明るく、笑顔の素敵な方でした。日本に来たばかりなので、日本のいろいろな所に行きたい、日本語も勉強したいなどと目をきらきら輝かせて、たくさんお話をしてくださいました。

しかし、その後の検査で末期の癌と告げられました。こうして患者さんの異国での長い闘病生活が始まりました。言葉の壁とさまざまな難題が患者さんを待ち受けていました。その中で、治療について先生からの説明がありました。さまざまなリスクの説明を受けた最後に、主治医の先生が「なにがあるかわからないし、絶対に安全とはいえない、でもこれだけは確実に約束できます。どんな事態になろうと、我々医療スタッフは患者さんを救うために全力を尽くします」とおっしゃいました。

この言葉は患者さんにとって、どれだけ闘病中の支えになったことでしょうか。患者さんが納得して治療を受けられるように進言してくださった先生の言葉は優しく、そして力強く私に響きました。患者さんの闘病中、MICのスタッフと共に一生懸命支え、最後まで現場の医療者と共に患者さんに寄り添うことができたことをとても誇りに思います。

最後はご両親が母国から来日されて、旅立ちに立ち会うことができました。患者さんも安らかに永遠の眠りにつきました。その後、患者さんのご家族から感謝のお手紙を頂きました。皆が一生懸命やったことが伝わったのだと思います。

私はこの患者さんの通訳を通して、医療者からは理性と冷静さを、患者さんからは絆と愛を教わりました。また、MICの仲間に支えられて、厳しい現場でも心を強くもって頑張ろうという気持ちを持つことができたことを感謝したいと思います。

MICちゃん

理想の道具とバッグを求めて



73号のニューズレターでも紹介しましたが、医療通訳スタッフそれぞれに通訳に出向くときの必須アイテムがあります。辞書や用語集、チャートなど、さまざまな資料のほか、メモとりがしやすい手になじんだペン、ノートやバインダー、手指消毒のためのアルコールジェル、子どもの患者さんを飽きさせないキャラクターグッズ、長丁場を乗り切るスナックなどなど。詰め込みすぎて、バッグが破れてしまった通訳も……。



2016年度 活動ご支援へのお礼

2016年度も会員の皆さまをはじめ多くの方々のご支援ご協力のおかげで活動を続けることができました。感謝の意を込め、2016年度（2016/4/1～2017/3/31）にご寄付をいただいた方々のお名前を掲載いたします。（あいうえお順、敬称は省略します）

<企業・団体>

FIT チャリティ・ラン 2016実行委員会、NPO法人シャロームの家、一般財団法人ザ・ブラフ・クリニック、公益財団法人パブリックリソース財団、みなとまち健康互助会（MF-MASH）

<個人>

市川和広、井出みはる、岩本弥生、小野悠一、川崎圭子、斉田浩一、佐藤ペティ、佐野知子、澤田貴志、清水秋恵、鈴木妙子、鈴木法子、鈴木方里子、竹村佳代子、鶴田光子、仁木久恵、西垣幸代、野田健市、古山季玲、松野勝民、三木紅虹、宮澤イザベル、森田佐知子、森田直美、その他匿名でのご寄付をいただきました。

<MIC かながわイベント隊>

MIC手芸部バザー実行委員会

MIC医療通訳ロールプレイ研修（協力：東京メドラボ(株)、麻生法子、伊藤常代、岩本弥生、岩元陽子、上野一行、エクトル・シエラ、草間久美、澤田貴志、杉下由紀子、鈴木クリスティーナ、鈴木法子、鶴田光子、徳田綾子、松尾圭子、三木紅虹、水越幹雄、向島知子、森田直美、矢島行子）

<募金>

株式会社ベネフィット・ワン（神奈川県庁ポイントサイト）、MIC かながわ募金箱

<賛助会費（寄付とみなされています）>

個人賛助会員 140人（173口）、団体賛助会員 9団体（45口）

皆さまの温かいお気持ちに心から感謝し、お礼申し上げます。いただいた寄付は活動に役立つよう大切に使用させていただきます。今後も永らくご支援ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



NPO法人「シャロームの家」からは、毎年行われるチャリティ・コンサートの収益の中から MIC かながわに寄付をいただいています。



MIC かながわは Twitter や Facebook で情報を発信しています。

Twitter のアカウントは

@MIC_Kanagawa、

Facebook ページは

www.facebook.com/Mickanagawa です。

Twitter や Facebook にアカウントをお持ちの方は、MIC かながわの活動や情報がより多くの方に伝わるよう、ご協力をお願いします。

- 4月11日(火) MIC かながわ理事会
 4月12日(水) 医療通訳公開講座英語中級開講
 4月13日(木) 医療通訳公開講座中国語中級開講
 4月14日(金) 移住連機関紙インタビュー
 対応：岩元副理事長・Co.・英語通訳、佐藤理事・中国語通訳、
 岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
 4月20日(木) 群馬県県会議員来訪 対応：岩元副理事長・Co.・英語通訳
 4月28日(金) コーディネーター会議
 5月3日(水)～7日(日) アジア開発銀行年次総会 派遣：英語医療通訳12名
 5月10日(水) 読売新聞福岡電話取材 対応：飯島事務局長
 5月13日(土) MIC かながわ監事監査
 5月15日(月) MIC かながわ理事会
 5月21日(日) 外国人無料健康相談会 於：カトリック貝塚教会(川崎市川崎区)
 5月26日(金) 佐久市健康づくり推進課来訪
 対応：佐藤理事・中国語通訳、飯島事務局長、内藤事務局スタッフ・Co.・タイ語通訳
 5月30日(火) コーディネーター会議
 6月3日(土) MIC かながわ定期総会
 6月20日(火) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会医療サービス部長来訪
 対応：岩元副理事長・Co.・英語通訳、飯島事務局長
 6月21日(水) 医療通訳公開講座英語上級開講(～10月11日 途中夏季休講あり)
 6月23日(金) MIC かながわ理事会
 6月28日(水) 神奈川県消防学校「外国語講座」 講師派遣：星中国語通訳、
 ヒューバート会員(英語)、バルガス事務局スタッフ(スペイン語)
 6月29日(木) コーディネーター会議・コーディネーター研修
 6月29日(木) 医療通訳公開講座中国語上級開講(～8月31日)

- 7月9日(日) 糸魚川国際人材サポート協会「糸魚川フォーラム」
 パネリスト派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳
 7月29日(土) 2017年度第1回医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修
 9月8日(金) 東邦大学 講師派遣：井出理事、佐藤理事・中国語通訳
 9月23日(土) 医療通訳ボランティア養成研修第1日目
 9月24日(日) 外国人無料健康相談会 於：カトリック大和教会(大和市)
 9月30日(土) 医療通訳ボランティア養成研修第2日目
 10月14日(土) 医療通訳ボランティア養成研修第3日目
 10月21日(土) 医療通訳ボランティア養成研修第4日目
 10月29日(日) 北九州国際交流協会「ベトナム語通訳スキルアップ研修会」
 講師派遣：鷲頭ベトナム語通訳
 10月29日(日) 佐久市ジャパンプランド「健康長寿」推進事業 通訳養成講座
 講師派遣：佐藤理事・中国語通訳、荒井タイ語通訳、
 内藤事務局・Co.・タイ語通訳(アシスタント)
 11月12日(日) 佐久市ジャパンプランド「健康長寿」推進事業 通訳養成講座
 講師派遣：佐藤理事・中国語通訳、荒井タイ語通訳



がいこくじんむりょうけんこうそうだんかい
●外国人無料健康相談会

MICのイベント(報告)



にちじ
日時：5月15日(日) 11:00～16:00
かいじょう
会場：カトリック貝塚教会 (川崎市川崎区)
ないよう
内容：胸部レントゲン、
けつあつそくてい、
にようけんさ、
しんたいけいそく、
しつか、
いし、
もんしん、
えいようしどう、
そうだん
歯科、医師による問診、栄養指導、相談
じゅしんにんすう
受診人数：30名 (4カ国)
はけんつうやく
派遣通訳：タガログ語1名 スペイン語1名、英語1名

ねんどていきそうかい こうりゅうかい
●MIC かながわ 2016年度定期総会・交流会

にちじ
日時：6月3日(土) 定期総会 13:30～15:00 交流会 15:30～17:00
かいじょう
会場：港湾労働者福祉センター (港町診療所2階)
せいかいいんすう
正会員数：71名
ちやくせつさんか
直接参加：24名、
しよめんひょうけつ
書面表決：28名、
いにんじょう
委任状：8名 (定足数確認時)
ねんどじぎょうほうこく、
けっさんほうこく、
かんさほうこく、
ねんどじぎょうけいかく、
よきん、
ていかん、
へんこう、
やくいん、
せんにん、
ぎあん
2016年度事業報告、決算報告、監査報告、2017年度事業計画、予算、定款の変更、役員を選任の7議案
は、特に大きな異議もなく無事承認されました。
ひつづ おこな
引き続き行われた交流会では、持ち寄りの料理を囲んでおしゃべりの花が咲きました。少し前に
はや たらう
流行ったピコ太郎のPPAP (Pen Pineapple Apple Pen) を10言語で歌い、楽しいひと時を過ごしました。



MICのイベント(予定)

●2017年度第1回 医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修

日時： 7月29日(土) 13:00~17:00

会場： 県立国際言語文化アカデミア JR根岸線「本郷台」駅下車 徒歩3分

内容： 1. 「協定病院のソーシャルワーカーより 医療通訳に望むこと」
 講師： 聖マリアンナ医科大学病院 SW 川上絵里氏、川崎市立多摩病院 SW 川上加奈氏、
 神奈川県立こども医療センター SW 鈴木菜々海氏
 進行役： 国際親善総合病院 SW 井出みはる氏
 2. 「精神科の病気と治療について」
 講師： 荒井宏氏 荒井クリニック院長 (元横浜市民病院 神経精神科部長)

●かながわ医療通訳派遣システム事業 医療通訳スタッフ新任養成研修

日時： ①9月23日(土)、②9月30日(土)、③10月14日(土)、④10月21日(土) 全4回

会場： 県立国際言語文化アカデミア JR根岸線「本郷台」駅下車 徒歩3分

<募集内容>

募集言語： 中国語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、フランス語 全6言語

募集人員： 各言語 5名程度

受講費用： 中国語、スペイン語、タイ語、フランス語 6,000円
 タガログ語、ベトナム語 4,000円

応募条件： MIC かながわホームページ掲載の募集要項をお読みください。条件についての詳しい記載があります。

応募方法： ホームページで応募用紙をダウンロードし、メール添付/FAX/郵送、いずれかの方法でMIC かながわ事務局宛てにお送りください。

応募受付期間： 6月26日(月)~7月31日(月) 締切厳守

全5ページにわたって、このボランティア活動の内容、応募条件等が詳しく記載されています。

神奈川県、県内自治体、協定病院なども経費を負担して養成研修を行っており、登録して活動していただくことが目的です。その趣旨をご理解のうえ募集要項をよく読んで、ご応募ください。

●外国人無料健康相談会

日時： 9月24日(日) 12:00~15:00

会場： カトリック大和教会 (大和市)

内容： 胸部レントゲン、血圧測定、尿検査、
 身体計測、医師による問診

2017年度 医療通訳スタッフを募集します!

募集言語：フランス語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、中国語、スペイン語

- ※ 神奈川県では、日本語を母語としない「医」の方々が協定医療機関を担担する際に、NPOと協働して医療通訳を派遣する「医療通訳派遣システム事業」を実施しています。
- ※ この事業は、NIC(かながわ) (NPO法人多言語社会リソースかながわ)、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県助産師会、かながわ医療通訳派遣システム協会(特定非営利活動法人)「国際医療」として、行政として医療通訳派遣システム事業を実施する、神奈川県と県内自治体で構成する組織)が協働で、県内の39協定医療機関に医療通訳スタッフを派遣するものです。
- ※ 主に平日の勤務、ボランティアで医療通訳スタッフとして、日本語を母語としない「医」の方々が活躍していただける方を募集します。

【医療通訳スタッフの募集方法】

日本語を母語としない「医」の方々の応募に関する次のことについて、選択を行います。

- ・研修、自費、検査結果、手帳等の郵送
- ・費用、交通、入館、保険等の手続
- ・労務相談、その他、医療に関する相談と認められること

【派遣料】 協定医療機関への派遣1日(3時間以内)につき、原則3,240円(交通費、派遣費)を前倒り徴収(2,935円)を要します。

(お問い合わせ先・応募用紙の送付先) 2017年7月31日(月)必着
 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ (MICかながわ)
 〒161-8509 東京都文京区湯島2-24-2 かながわ横浜センター内
 TEL: 045-314-3368 FAX: 045-342-7918
 E-mail: michanagawa@network.nic.or.jp



げんごべつじしゅべんきょうかいじょうほうほうほうこく
言語別自主勉強会情報(報告)

2017年4月~6月開催分

げんご 言語グループ	にちじ 日時	かいじょう 会場	ないよう 内容
ちゅうごくご 中国語	4月22日(土) 13:30~17:00	かながわけんみんセンター	てんかん 癲癇について
	6月3日(土) 10:00~12:00	かながわけんみんセンター	のうかすいたいしゆよう 脳下垂体腫瘍について/クイックレスポンス れんしゅう 練習
スペインご 語	4月15日(土) 13:30~15:30	かながわけんみんセンター	けんさこうもく じれいけんとう 検査項目/事例検討
	5月20日(土) 13:30~15:30	かながわけんみんセンター	さんふじんか じれいけんとう 産婦人科/事例検討
	6月17日(土) 13:30~15:30	かながわけんみんセンター	せいしんか じれいけんとう 精神科/事例検討
ポルトガルご 語	4月23日(日) 13:00~16:00	かながわけんみんセンター	れんしゅう じれいけんとう スキット練習/事例検討
	6月4日(日) 13:00~16:00	つるみこくさいこうりゅう 鶴見国際交流ラウンジ	れんしゅう じれいけんとう スキット練習/事例検討
タイご 語	4月22日(土) 13:30~16:00	MIC かながわ事務所	げんにんしゃけんしゅう 現任者研修ロールプレイの用語や表現をふ りかえる/事例検討
	6月24日(土) 13:30~16:00	MIC かながわ事務所	いりょうようごしゅうだい ほん む そうだん じれいけんとう 医療用語集第2版に向けての相談/事例検討
えいご 英語	5月28日(日) 13:00~16:30	よこはましにしくふくしほけん 横浜市西区福祉保健 かつどうきょてん 活動拠点フクシア	こきゅうきけいしっかん 呼吸器系疾患について/ロールプレイ

じむきょく
事務局からのお知らせとお願い

ねんどかいひ
2017年度会費 (2017年4月~2018年3月)
 のうにゅう ねが
納入のお願い

MIC かながわは認定特定非営利
 かつどうほうじん にんてい ほうじん
 活動法人 (認定NPO法人) です。

寄付は所得税の寄付金控除、または
 きふ しょとくぜい きふきんこうじよ
 税額控除、いずれか有利な方の適用
 せいがくこうじよ ゆうり ほう てきよう
 を受けることができます。

また、神奈川県にお住まいの方は
 かながわけん す かた
 個人県民税の寄付金控除の適用も
 こじんけんみんぜい きふきんこうじよ てきよう
 受けることができます。

会員はいつでも募集しています。
 かいいん ぼしゅう
 ぜひ会員になって私たちの活動を
 かいいん わたし かつどう
 支えてください。

しんきかいいん けいぞくかいいん かた
●新規会員・継続会員の方

せいかいいん
 正会員：6,000円

こじんさんじよかいいん
 個人賛助会員：1 □ 3,000円

だんだいさんじよかいいん
 団体賛助会員：1 □ 10,000円

(賛助会費は寄付扱いとなります)

かいひりこみさき
【会費振込先】

ぎんこう よこはまえきまえてん
 みずほ銀行 横浜駅前支店

ふつう
 普通3819349

こうざめいぎ とくていひえいりかつどうほうじんたげんこしゃがい
 □座名義：特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ

ぎんこう
 ゆうちよ銀行

こうざ
 □座：00270-2-55771

こうざめいしょう
 □座名称：MIC かながわ

MIC かながわ会員活動 手芸部だより



MIC かながわ会員の皆さま

空梅雨では水不足が心配、かと言って毎日しとしと降るのも大雨も困りもの、ほどほどに降ってほしいものですね。この季節、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

手芸部は、参加者それぞれの得意技やアイデアを持ち寄って、毎月楽しく活動しています。6月7月のこの時期は、そろそろ秋冬のバザー（出店参加予定）のことが気になり始めます。定番の布のリースや毛糸のツリーの他に、楽しく作れるものを見つけましたのでご紹介します。

それは、5月の手芸カフェで作った「四合わせ袋」がもとになっています。「4枚の布を合わせる」と「しあわせ=幸せ」の語呂合わせで、さらに横文字に変えれば Happy Bag です。簡単なパッチワークのテクニックを応用してマジックのようにできる、作る人もなんだか幸せになるような袋です。この Happy Bag を大きさを変えたり、季節の色柄の布を使ったりして、ご自分用に、またプレゼント用にも使っていただければと思っています。

こんな具合で、ひとつのアイデアをいろいろな展開していくのは面白いものです。頭も口も手も忙しい「手芸カフェ」、次回は7月15日(土)13時30分からの予定です。詳細は追ってお知らせいたしますので、どうぞご参加ください。「幸せ袋」をご一緒に作りましょう。

手芸部一同



しあ

わせ



ことばで支える いのちとくらし

へんしゅうこうき 編集後記

◆約40年前に開発された山の中の我が住宅地。スーパーに行くにも下山と登山が必須なので、近所のコンビニが大盛況。売れ筋は近隣で取れた野菜やワカメ。肉や卵も豊富です。先日は、寝る前に急に子どもがないと騒ぎ出した漢字練習帳を夜中に買いに行きました。開いててよかった。わが町の命綱です。(K. M)

◆5月からMICかながわ事務局の一員になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、伊豆の城ヶ崎に車で紫陽花を見に行きました。見ごろには少し早かったのですが、様々な色の紫陽花が沢山植えられていて本当にきれいでした。行くときに、小さなサプライズがありました。道の脇の雑木林に小鹿がいたのです。車を見ても逃げずに草を食べていました。可愛くて思わず見とれてしまい、ちょっと得した気分になりました。(A. M)

◆痛みの表現で、ズキズキ、シクシク、チクチク、ヒリヒリ。医療通訳にとって悩みの種ですよね。日本語は本当に擬態語が多くて、日本語学習者も困っていると思います。でも、イメージが伝わる不思議なことば。

シトシトと降る梅雨の雨。ジメジメして、汗で体がベタベタ。スッキリ、カラリと晴れた空が待ち遠しいです。(M. N)

じむきょく 事務局長からのお知らせとお願い

けいひせつげん きょうりょく ねが
～経費節減にご協力をお願いします～

今後、MIC からののお知らせはEメールのみでかまわないという方で、その旨まだご連絡いただいていない方は、お手数ですが事務局までご一報願います。

～書き損じハガキを寄付してください～

もし、ご家庭に書き損じハガキや未使用切手が眠っていらっしゃいましたら、ご寄付をお願いします。

事務所にお送りいただくか、研修などの際にお会いできる機会があれば事務局スタッフにお渡しください。事務局での業務に利用させていただきます。ご協力よろしくお願います。



み っ く
M I C かながわ

とくていひ えい りかつどうほうじん
特定非営利活動法人

たげん こしゃかい
多言語社会リソースかながわ

はつこうじん まつのかつみ
発行人 松野勝民

へんしゅう はつこう じむきょく
編集・発行 MIC かながわ事務局

〒221-0835

よこはましかながわくつるやちよう
横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2

かながわ県民センター内

Tel : 045-314-3368

Fax : 045-342-7918

e-mail : mickanagawa@network.email.ne.jp

URL : <http://mickanagawa.web.fc2.com/>